

日 本 史

注 意

1. 問題は全部で14ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I 次のA～Eの文章を読んで、問に答えなさい。

A 1949年の あ 遺跡の学術調査により、更新世の地層から打製石器が見つかった。このことから、日本列島にもこの時代^aに人が住んでいたことが事実になった。この頃の人々は狩猟や植物性の食料の採取によって生活していたと考えられる。狩猟の道具としてはナイフ形石器や槍先形 い 器などが使用されていたが、この時代の終わりごろには小型の石器である細石器が出現している。この細石器を用いた文化は中国東北部からシベリアにかけて発達したもので、日本列島の北方から流入してきたものと考えられている。

B 日本列島は海に囲まれた島国である。そのため漁労が盛んになり、道具も発達した。縄文時代には銚やヤス、釣り針などの う が用いられ、採取された貝^bが捨てられた貝塚も多数形成された。縄文時代前期の気候は温暖で、植物性の食料が比較的容易に利用でき、それを食べる動物の種類も多様で、それらを狩猟する人々にとっては大変有利であったと考えられる。それ故、この時期の人々の食生活は意外に安定していたものと考えられている。

C 水稻耕作などの新しい技術が大陸から伝えられた弥生時代^cは、木製の農耕具が使用され、各地の遺跡から鋤や鍬などが発掘されている。初めは大陸系^dの磨製石器などによって製作されていたこれらの農具も、次第に鉄製工具によって作られるようになった。また、この時代の後期には鉄製の刃先を持つ農具も普及し、石器の多くが姿を消していった。

D 大陸文化が盛んに受容されたこの時代には、機織り・金属工芸・土木などの諸技術が渡来人達^eによって伝えられた。大和政権は彼らを技術者集団に組織し、各地に住まわせた。土木技術の発達、それを基盤とした大和政権の政治的・経済的優位性の確立を背景に、畿内^fを中心に巨大な前方後円墳が造営されるようになった。古墳時代後期になると、従来の埋葬施設に代わり、朝鮮半島と共通の横穴式石室を持つ古墳が一般化した。また6世紀には朝鮮半島から仏

教が伝来し、日本で初めての寺院である飛鳥寺が建立された。この寺院建立の技術は当時の最先端技術であり、大王家や畿内の有力豪族は、その経済力や高度な文化の受容力を背景に寺院をこぞって建立するようになる。

E 大宝律令が完成し、律令制度による政治組織が整うと、都は藤原京から平城京へと遷された。都には大寺院が立ちならび、中央と地方を結ぶ交通路も整備された。中央政府は支配領域の拡大にもつとめ、政府がその地に住む人々を と呼んだ東北地方には軍事的・政治的政策として城柵が築かれた。

問 1 ~ に入る最も適切な語を漢字で書きなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 2 以下は解答用紙(その1)を用いること。解答番号 ~

問 2 下線部 a について、この時期の日本列島の人々についての説明として正しいものを下から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 彼らの特徴は、アジア大陸南部の古モンゴロイドと呼ばれる人種と共通すると考えられている。
- ② 彼らの使った道具として、土器が残っている。
- ③ 彼らはウサギなどの小型動物を主に狩猟していたと考えられる。
- ④ 彼らは化石人類としては原人段階に分類される。

問 3 下線部 b について、日本で初めて大森貝塚を発掘調査した人物を下から選び、その番号をマークしなさい。

- ① シーボルト
- ② ホフマン
- ③ モース
- ④ ベルツ

問 4 下線部 c に関連して、縄文晩期～弥生中期に、北部九州を中心に行われた墓の形態を下から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 方形周溝墓
- ② 支石墓
- ③ 土壙墓
- ④ 墳丘墓

問 5 下線部 d について、この時代の大陸系磨製石器ではないものを下から選び、その番号をマークしなさい。 4

- ① 局部磨製石斧 ② 太型蛤刃石斧
③ 扁平片刃石斧 ④ 柱状片刃石斧

問 6 下線部 e について、渡来人達の中には、大和政権のさまざまな記録や外交文書などの作成にあたった人たちもいた。この人たちは何と呼ばれていたかを下から選び、その番号をマークしなさい。 5

- ① 画部 ② 史部 ③ 忌部 ④ 犬養部

問 7 下線部 f について、この巨大古墳として応神天皇陵とされている誉田御廟山古墳があげられるが、この古墳が含まれる古墳群を下から選び、その番号をマークしなさい。 6

- ① 百舌鳥古墳群 ② 西都原古墳群
③ 新沢千塚 ④ 古市古墳群

問 8 下線部 g について、この寺の伽藍配置について正しい記述を選び、その番号をマークしなさい。 7

- ① 西に塔、東に金堂を配置する伽藍配置である。
② 塔を中心に東・西・北の三方に金堂を配置する伽藍配置である。
③ 東に塔、西に金堂を配置する伽藍配置である。
④ 金堂の前面の東西に塔を配置する伽藍配置である。

問 9 下線部 h について、このような大寺院の中には藤原不比等の邸宅を娘の光明子が相続して寺院とし、全国の国分尼寺の中心となった寺院もある。この寺の名称を下から選び、その番号をマークしなさい。 8

- ① 薬師寺 ② 法華寺 ③ 大安寺 ④ 法成寺

問10 下線部 i について、平安時代に の族長を降伏させて、胆沢城を築いた将軍がいる。この の族長とこれを降伏させた征夷大将軍の組み合わせとして、正しいものを下から選び、その番号をマークしなさい。

- | | |
|---------------|----------------|
| ① 阿弭流為，文室綿麻呂 | ② 阿弭流為，坂上田村麻呂 |
| ③ 伊治皆麻呂，文室綿麻呂 | ④ 伊治皆麻呂，坂上田村麻呂 |

Ⅱ 次の(1)(2)について、それぞれの設問に答えなさい。

(1) 応仁の乱により、高い文化や教養を身に付けていた多くの公家たちが、戦国大名を頼って地方に下っていった。中央にあこがれをもつ戦国大名たちは歓迎して受け入れ、これにより地方文化がさかえた。日明貿易でさかえた大内氏の城下町 には、多くの文化人があつまり、古典の講義が行われ、書籍の出版もなされた。島津氏が居城を構えた鹿児島でも、 が招かれ、朱子の『大学章句』を刊行するなど、薩南学派のもとをつくった。また、中部・関東地方などをめぐり、すぐれた漢詩文を残した万里集九のような禅僧もいた。

下野国では、関東管領上杉憲実が15世紀中ごろ を庠主として迎えて足利学校を再興した。^b16世紀中ごろに来日した宣教師ザビエルは、この学校を と称して、西洋に紹介した。

地方武士の子弟の教育も行われるとともに、都市の有力な商工業者や村落指導者層の間でも読み・書き・計算の能力が必要とされるようになり、国語辞書である『節用集』も刊行された。^c

問1～問5は解答用紙(その1)を用いること。解答番号 ～

問1 空欄 に該当するものはどれか。次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。

- ① 大宰府 ② 山口 ③ 堺 ④ 鎌倉

問2 空欄 に該当するものはどれか。次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。

- ① 顕如 ② 玄恵 ③ 快元 ④ 天海

問3 下線部 a について、この人物を江戸に招いたのは誰か。次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。

- ① 太田道灌 ② 足利義政 ③ 上杉憲忠 ④ 徳川家康

問 4 下線部 b は、鎌倉公方を補佐していたが、将軍足利義教に協力して、鎌倉公方足利持氏を倒した。この事件をなんというか。次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。 13

- | | |
|--------|---------|
| ① 結城合戦 | ② 享徳の乱 |
| ③ 永享の乱 | ④ 山崎の戦い |

問 5 下線部 c を刊行したとされる町人学者はどれか。次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。 14

- | | |
|---------|---------|
| ① 南村梅軒 | ② 一条兼良 |
| ③ 三条西実隆 | ④ 饅頭屋宗二 |

問 6 空欄 ア に該当する最も適切な語句を記入しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 7 空欄 イ に該当する語句を解答用紙に指定された文字数で記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

(2) 江戸時代、幕府や諸藩は、主君への忠、父祖に対する孝、礼儀による秩序を重んじる朱子学を中心とする儒学を特に重視した。朱子学者 う が幕府最初の儒官となり、徳川家康・秀忠・家光・家綱四代に仕え、三代将軍徳川家光のとき、江戸上野忍ヶ岡に孔子廟と私塾を設けた。五代将軍徳川綱吉^dのとき、孔子廟と私塾を湯島に移転し、湯島聖堂を新築して聖堂学問所として整備し、え が大学頭に任ぜられた。朱子学を正学とした寛政異学の禁のもとで大学頭に任ぜられた お は、その私塾を切り離し、幕府直轄の教育機関である昌平坂学問所を創設した。ここでは、幕臣の子弟の教育をはじめ、諸藩の藩士や浪人、庶民に向けての活動も行われ、幕府の教学の中心となった。

一方、18世紀末以降諸藩でも藩士子弟の教育のために藩校^eが設立・復興さ

れ、その数が増加した。ここでは、朱子学を中心とする儒学や武術のほか、国学・洋学なども教えた。また、藩校の延長としての藩士子弟の教育や、藩営や民営の庶民教育を行う教育機関である も作られるようになった。民間でも、はやくから武士・町人・学者などによって私塾が開かれ、儒学だけでなく国学・洋学などが講義され、後期になるとその数は急増した。

庶民の初等教育機関である も19世紀初頭急増し、村役人・僧侶・神官・富裕な町人・浪人などによって、庶民が生活する上で必要な知識や教養を得るための教育が行われた。女子教育もさかんにおこなわれ、女師匠もいた。こうして、初等教育がひろく普及した。

問8～問11は解答用紙(その1)を用いること。解答番号 ～

問8 空欄 ・ ・ に該当する人名の組み合わせとして正しいのはどれか。次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ① | う：林鶯峰 | え：林羅山 | お：林述齋 |
| ② | う：林羅山 | え：林述齋 | お：林信篤 |
| ③ | う：林羅山 | え：林信篤 | お：林述齋 |
| ④ | う：林述齋 | え：林信篤 | お：林鶯峰 |

問9 下線部dの侍講となった学者は誰か。次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。

- ① 木下順庵 ② 山鹿素行 ③ 熊沢蕃山 ④ 伊藤仁斎

問10 下線部eについて、1799年松平容頌によって命名され再興された、会津藩の藩校はどれか。次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。

-
- ① 致道館 ② 養賢堂 ③ 造士館 ④ 日新館

問11 下線部 f について、女子の心得を著わした『女大学』のもとになるとされる『和俗童子訓』の作者は誰か。次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。 18

- ① 貝原益軒 ② 室鳩巢 ③ 太宰春台 ④ 吉田光由

問12 空欄 ウ に該当する語句を記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問13 空欄 エ に該当する語句を記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

Ⅲ 次の文章は、各年度の『経済白書』（『年次経済報告』）の一部である（内閣府ホームページから一部転載）。資料を読み、以下の設問に答えよ。（「・・・」は中略、後略を記している）

A. この時期は といわれた時期である。・・・32年5月くらい、急低下を続けた鉱工業生産は、33年3月を底に上昇に転じ、9月までに8.5%増と急速な回復歩調を示した。しかしこの間卸売物価は下げ続け、上半期中になお2.3%下落した。品目別にみると、それまで大幅に下げてきた金属、繊維などの下げ過ぎ訂正の動きがあったものの、他の商品はむしろ下落率が増加している。・・・秋に入ると景気の基調は転換して明るくなり、意外なほどはやく回復がみられた。需給好転も上半期中は一部業種に限られていたが、下半期に入ると鉄鋼をはじめ、セメント、ソーダ工業などに次第に及んで、生産活動は引き続き上昇し、鉱工業生産は12月にはやくも のピーク（32年5月）をこえた・・・

B. ・・・日本経済は過去18年間の高度成長の結果、経済規模に関する限りは先進国の域に到達することができた。しかしその間の超高度成長の過程で多くの面で不均衡な状態を生じており、また先進国らしからぬ姿に留まっていることが指摘される。しかも世界は日本経済に対して先進国並の評価を与えるに至り今後の日本経済にはIMFの8条国への移行、^aOECDへの加盟^bなど一層の貿易為替の自由化が必要となっている。日本経済の先進国的役割も一層増加するものとみなければならない。

C. 円の変動相場制移行は日本経済に大きな衝撃を与えたが、すでにそれ以前に^c在庫調整がかなりの程度まで進んでいたため、その後の調整は大幅なものではなく、また輸出の落込みも、既契約分の船積みなどによって軽微にとどまった。

D. . . . 国内経済水準の上昇と貿易収支の悪化が最も端的に現れた年である。

鉱工業生産及び国民所得の増加率は世界一であった。この年において日本経済が到達した生産、国民所得及び国民生活等の規模は、野心的とさえ思われていた戦後復興計画の計画目標をも遥かに凌ぐものであった。鉱工業生産は終戦の年の5倍、対戦前(昭和9～11年基準)6割増の水準に達し、国民所得は3割増、人口の増加を考慮に入れた一人当たり所得も消費水準と並んで初めて戦前の水準を破った。しかし、西ドイツ復興のめざましさを「西ドイツ経済の奇跡」と称えた世界の目は我が国経済の回復をみせかけの繁栄と評する。それは一国経済の世界に向けた顔ともいうべき貿易収支が余りにも著しい不均衡を露呈しているからにほかならない。復興計画では28年度までに輸出16億ドルを達成する目標であったが、実際は13億ドルにとどまった。しかし輸入は26億ドルにせまり、その前年に対する増加は比率で世界一、金額にしても世界で第2番目であった。従って28年度までに自力による国際収支の均衡を達成しようとした復興計画の見通しに対し、同年の国際収支実際は、8億ドルの特需収入がありながら3億ドル余の赤字を示した。このような国内経済の予想以上の回復と対外収支の不均衡の鋭い、しかも不幸な対照はいかなる原因によってもたらされたのであろうか。なるほど失われた海外市場は回復していない。その上にポンド圏を初めとする輸入削減等の事態も加わった。国内でも不作というような思いがけぬ事情も突発した。しかし我が国現在の国際収支の悪化の主たる原因は、これを国内経済の実力以上の膨張に求めなければならない。

E. 需給のアンバランスが続いたために、卸売物価も7月まで下落した。倒産は、中小企業ばかりでなく大企業にも及び、5月には大証券会社にも経営の破たんを来すものが現れ、日銀が昭和初年の う 以来はじめての特別融資を行って收拾にあたったが、経済界の不安は著しく強まった。

F. かえりみれば戦後ここに13年、焦土から立上った我が国経済は西ドイツをも凌ぐ速やかな成長を達成して、戦前日本経済が占めていた国際的地位をほとんど回復した。 . . . また戦後、技術革新の波によって発展した合成繊維、合

成樹脂、あるいはテレビ、電気洗濯機、自動車など の伸びはその基礎産業としての化学工業や金属工業の発展を招き、いわゆる生産の迂回化を進めたのである。・・・最後に農村が景気後退の影響を深刻に受けなくなった有力な理由も国の支えにある。昭和初年の のときには最大の被害者は農村であった。昭和5年豊作のために、半年の間に米価は 下落し、農民はいわゆる豊作貧乏に陥った。不況の農村に対する影響は海外からもきた。すなわち、 の後退によって生糸の輸出は激減し、繭価の下落によって農家所得はさらに大きな打撃を受けた。戦後においてはなぜこのような循環が生じないのか、それは主として農産物の価格が政府施策によって支持されているためである。直接統制を受けている米はいうに及ばず、麦、繭、菜種、甘藷などに至るまで農業収入の7割までは政府の価格支持と安定政策に支えられているのである。

問1～問11は解答用紙(その1)を用いること。解答番号 ～

問1 空欄 にもっとも適切な語句を、次の中から1つ選びマークしなさい。

- | | |
|----------|------------|
| ① 神武景気 | ② オリンピック景気 |
| ③ なべ底景気 | ④ 証券恐慌 |
| ⑤ いざなぎ景気 | ⑥ いざなみ景気 |

問2 空欄 にもっとも適切な語句を、次の中から1つ選びマークしなさい。

- | | |
|----------|------------|
| ① 神武景気 | ② オリンピック景気 |
| ③ なべ底景気 | ④ 証券恐慌 |
| ⑤ いざなぎ景気 | ⑥ いざなみ景気 |

問 3 空欄 にもっとも適切な語句を、次の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 世界恐慌 ② 資本主義恐慌 ③ 金融恐慌
- ④ 震災恐慌 ⑤ 戦後恐慌

問 4 空欄 にもっとも適切な語句を、次の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 三種の神器 ② 耐久消費財 ③ 機械部品
- ④ 大衆向け製品 ⑤ エコ製品 ⑥ ママさんグッズ
- ⑦ 耐用生産財 ⑧ 工作機械

問 5 空欄 にもっとも適切な語句を、次の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 松方デフレ ② 高橋財政 ③ 井上デフレ
- ④ アベノミクス ⑤ 関東大震災 ⑥ 企業勃興

問 6 空欄 にもっとも適切な語句を、次の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 約1割 ② 約2割 ③ 約3割
- ④ 約4割 ⑤ 約5割 ⑥ 約6割

問 7 空欄 にもっとも適切な語句を、次の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 国内景気 ② 米国景気 ③ 欧州景気
- ④ 中国景気 ⑤ 朝鮮景気 ⑥ 豪州景気

問 8 下線部 a の IMF 8 条国の説明について、最も適切なものを、次の選択肢の中から 1 つ選び、マークしなさい。 26

- ① 資本の自由化を推進する国
- ② 国際収支を理由に為替管理が認められていた国
- ③ 国際収支を理由に為替管理を行えない国
- ④ 国際収支を理由に輸入制限ができない国
- ⑤ 国際収支を理由に輸入制限ができる国
- ⑥ 自由に関税をかけるのを認めない国
- ⑦ 国際収支を理由に輸出規制を行える国

問 9 下線部 b の OECD について、日本語名で最も適切なものを、次の選択肢の中から 1 つ選び、マークしなさい。 27

- ① 関税および貿易に関する一般協定
- ② 国際通貨基金
- ③ 国際復興開発銀行
- ④ 北米自由貿易協定
- ⑤ 政府開発援助
- ⑥ 経済協力開発機構
- ⑦ 世界貿易機関

問10 下線部 c における変動為替相場制の説明について、最も適切なものを、次の選択肢の中から 1 つ選び、マークしなさい。 28

- ① 変動為替相場制へ移行(外国為替相場の変動幅制限を停止)したのは 1973 年 2 月のことである。
- ② 政府への届け出に基づき自由に為替相場は変動できるようになった。
- ③ 変動為替相場制以前は、1 ドル = 320 円の固定相場制だった。
- ④ 変動為替相場制の実施は石油ショックが大きな原因とされている。
- ⑤ 変動為替相場制の結果、固定相場制の時と比較して円安となった。

問11 下線部dにおける特需の説明について、最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選び、マークしなさい。 29

- ① 高度経済成長にともない起こった設備投資需要
- ② 朝鮮戦争を契機として起こったアメリカ軍の特別需要
- ③ 戦後復興期に起こった住宅建設需要
- ④ ドッジ=ラインのもとで起こった中小企業再建資金
- ⑤ 労働争議のもとで起こった特別手当の総称

問12 設問にあるAからFの『経済白書』について、発表年度が古い順に並べよ。以下、問17までは、解答用紙(その2)を用いること。

() → (F) → () → () → () → ()

問13 本文Aについて「鉦工業生産が33年3月を底に上昇に転じ」とあるが、この時(昭和33年3月)の内閣総理大臣を記しなさい。

問14 本文Bについて「IMFの8条国への移行、OECDへの加盟など一層の貿易為替の自由化」とあるが、このIMFの8条国への移行やOECDへの加盟が実現した時の内閣総理大臣を記しなさい。

問15 本文Cについて、「円の変動相場制へ移行」したとあるが、日本が変動為替相場制に移行(外国為替相場の変動幅制限を停止)した時の内閣総理大臣を記しなさい。

問16 本文Eについて叙述してある時期の内閣総理大臣を記しなさい。

問17 ポツダム宣言受諾、降伏を行ない、8月15日に退任した内閣総理大臣を記しなさい。

